

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 テイレシアスの食卓——河井健司
- 42 大往生考
- 51 西風
- 59 交差点——読者の声・編集者の声



高齢化と人口減で生じた隙間を、クルド人や中国人が埋めて広がる。民族ごとに完結するコミュニティは、地域との共生を拒む。確固たる移民政策がないために生じる対立と分断。政府の欺瞞の重いツケだ。(110頁)

- 98 社会・文化●情報カプセル
- 100 東大法学部「解体」のすすめ
- 102 ソプラノ歌手「高橋美千子」の味わい——現代音楽の「難曲」に声で挑む
- 104 「天然ダイヤモンド」が失う輝き——需要減少と値崩れは止まらない
- 106 外科医「減少」をどう克服するか——国主導「海外派遣」という妙案
- 108 米映画界と「CIA」の濃密な関係
- 110 埼玉「外国人街」——直視すべき日本の「将来像」

- 80 金融の世紀——黒木亮
- 88 皇室の風——岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う——河谷史夫
- 96 をんな千一夜——石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

- 3 連載〈巻頭インタビュー〉谷誠——「激甚水害」とどう向き合うか

特別リポート

韓国「核配備」の足音

——日本周辺は「世界一危険」な地域に

- 12 日米豪印「クアッド」の行き詰まり——中国との和解に傾くバイデン政権
- 14 欧州「ポスト・ファシズム」の隆盛——変容する「二十一世紀型」極右思想
- 16 ロシア正教会「聖戦宣言」の狂気
- 18 宗教依存が進むプーチンと郎党
- 22 欧州とロシアで広がる「闇の戦争」
- 24 中国が狙う「黒海進出」——「西方拡大戦略」の新たな野望
- 28 ベネズエラに「民主化」の日は来るか——大統領選で窮地の「独裁者」
- 30 大河「メコン川」が枯れてゆく——中国の横暴に泣く流域諸国
- 32 西欧分断を煽るイスラム過激派
- 34 米中が競う「無人兵器軍拡」——台湾有事に備える「機密の装備」
- 36 露朝が目指す「枢軸経済圏」
- 38 連載〈現代史の言霊〉七月の社説——ポーランド「非共産党」政権樹立（一九八九年）

在韓米軍の核兵器再配備は、もはや避け難い流れだ。中朝露が眼前に並ぶ韓国にとって、一段の抑止力向上は死活問題。実現すれば、日本の周辺は核大国同士の角逐の地、世界最悪の核軍拡エリアとなる。(6頁)



「四面楚歌とは感じていない」。再選意欲むき出しの岸田に、「降ろし」の意気も上がらない。「暴発解散」が怖いのと、衆目一致する次の顔がないからだ。「いっそ下野した方がマシ」との正論も聞かれ始めた。(48頁)

- 44 政治●情報カプセル
- 46 菅義偉が「新キングメーカー」なのか
- 48 岸田再選「消えない理由」
- 52 連載〈政界スキャン〉麻生太郎が心底恐れていること
- 54 岸田「中国外交」の支離滅裂——習近平「国賓来日」を巡る迷走
- 56 立民「野田再登板」への蠢動
- 58 連載〈罪深きはこの官僚〉久保田秀暢（国土交通省物流自動車局長）——安全より「ヨタ優遇」の追従者

- 60 米国株に近づく「曲がり角」——「十四年後半」相場の要注意点
- 62 武田薬品は大丈夫なのか——利益ガタ落ちの名門に迫る落日
- 64 NTT「第二の埋蔵金」は誰のもの
- 67 連載〈クロース・アップ〉
- 68 連載〈企業研究〉積水ハウス
- 72 三菱UFJ「大甘」処分勧告の深層
- 74 経済●情報カプセル
- 78 連載〈地方金融の研究〉滋賀銀行——終わらぬ「システム刷新」の泥沼
- 80 トヨタ「不正の総本家」
- 84 薬局再編「騒乱」の舞台裏——ファンドの攻勢に病める業界
- 86 空念仏の東京電力「再建計画」——福島を忘れた経産省の大罪

疑われるのは重大なコンプラ違反。その証拠を隠滅するための解体か。異様な対処は、同社の焦りの裏返し。米社の巨額買収で財務は傷み、長期格付けは2段階も落ちた。大きな危機の予兆とみてよい。(68頁)

